

セン南 うろでる プレス (2007年春号)

4月15日(日)-19日(木)に学会休みを取らせていただきます。

神戸で開かれる泌尿器科学会総会で

慢性前立腺炎(慢性骨盤疼痛症候群)の治療成績

を報告いたします。

慢性前立腺炎は前立腺の炎症が慢性的に続いている状態で、会陰部や下腹部、陰囊などに鈍痛や不快感を感じます。

診断は、まず、前立腺マッサージによって前立腺分泌液を搾りだします。分泌液のなか白血球、菌とも陽性なら慢性細菌性前立腺炎、白血球のみ陽性なら非細菌性前立腺炎、両方とも陰性なら前立腺痛と診断されます。

前立腺分泌液の検査をしないで、「前立腺炎」の診断をつける医者も少なくありません。尿道炎が治った後も症状が続くときや、前立腺は肥大症していないのに残尿感があるなどに「前立腺炎」の病名をつける医者が非常に多いのです。患者さんは延々と抗生物質を投与されても症状が治らず、とんでもない性病にかかったような不安を抱え込むので「前立腺炎という病名は、臨床医の無知によるくずかご」とも言われる所以です。

患者さんは性病扱いされるのをおそれ、職場の人や友人に相談できず、インターネットで前立腺炎の情報を集めようとされるようです。

私は1997年に前立腺についての掲示板を開設しましたが、書き込みは前立腺炎に関するものが多く、次第に前立腺炎で有名なサイトに成長しました。このため当院には1年半に他院で前立腺炎と診断・治療された133人を含め、213例の患者さんが来院されました。

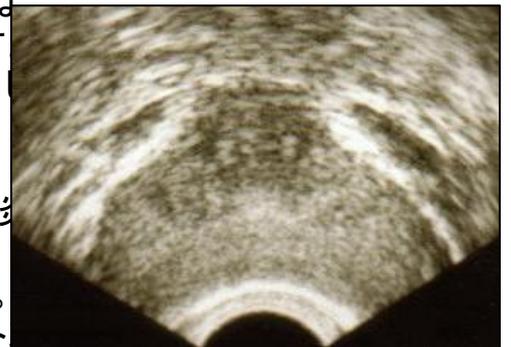
当院では、前立腺分泌液の検査に加え、前立腺エコー検査を行います。前立腺周囲の静脈洞が開大していれば骨盤腔内の血液の循環が悪い、うっ血状態とわかります。これは漢方の概念では、血が停滞した状態。才血に相当し、

駆才血剤が有効です。駆才血剤には桂枝茯苓丸、加味逍遥散、当帰芍薬散、桃核承気湯などがあります。

当院で1年半に治療した213例の内訳は、細菌性前立腺炎が13例、非細菌性前立腺炎が60例、前立腺痛が140例。

細菌性前立腺炎には12例に抗菌剤を投与し6例が治癒。非細菌性前立腺炎には58例に抗菌剤もしくはセルニルトン漢方薬・抗コリン剤もしくは併用で治療し、22例が治癒。

前立腺痛には127例にセルニルトン・漢方薬・抗コリン剤・α ブロッカーなどの処方と前立腺液圧出法で治療。45例が改善、44例が無効でした。



Q. ウロデルって何？

A. ラテン語で泌尿器はウロロギア、皮膚科はデルマトロギア、皮膚泌尿器を略してウロデルと言います。



院長紹介

履歴:

医学博士 木村 明
東大卒・東大病院医局長・
東大講師・東京共済病院部長
泌尿器科専門医・
超音波専門医

